

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

令和7年度 事業計画

事業方針

令和7年度 テーマ

観光・新化・伸化 ～オールいわきでチャレンジ～

令和6年度は、円安や物価高騰による影響が長引き、節約志向が高まりつつも、観光需要は堅調に推移した。

このような中、原発事故以来停滞していたインバウンドについて、中長期戦略の策定着手、現地での営業活動、会員による台湾ミッションの実施など、関係機関・団体と連携して新たな段階に進むことができたほか、SNS等を活用したデジタルマーケティング、いわきFC、サイクルツーリズム、高校総合体育大会サッカー競技をはじめとするスポーツ、大型クルーズ船の寄港受入など、観光物産両面で全国からの誘客に努めた。

本年度は、昨年度改定した「いわき市観光まちづくりビジョン」を基本に、的確なマーケティング戦略を展開するとともに、今年度から始まる「ふくしまDESTINATIONキャンペーン」等に合わせた商品造成と、デジタルを中心とした情報発信強化に取組み、いわき観光の魅力を新化・伸化させることとする。

インバウンドにおいては、計画精度を一層高め、結果に繋がる手を着実に打っていくとともに、ホープツーリズムやスポーツツーリズム、教育旅行をはじめとする本市の強みを活かした観光誘客策を進めていく。

物産面でも「常磐もの」に代表される本市製品の認知度向上と販売強化に努める。また昨年度実施の専門家セミナー等を通して発掘・育成された産品等を支援する試みを実施し販路拡大に繋げる。

以上の取組みについては、会員事業者や地域との連携により、各事業部会を中心に事業を推進する。

特に本年は、小名浜道路の開通やいわき・ら・ら・ミュウの道の駅登録、いわき花火大会の70回目の開催、磐城平城しろあと公園の供用開始などのトピックスもあることから、全国に向けた情報発信機会を通して新たな可能性を求め、大きく飛躍できるよう取り組んでいく。

また、昨年開館40周年を迎えた「いわき市石炭・化石館」の集客強化を進め、市内周遊を加速させ交流人口の拡大に努める。

I 公益事業

1 いわき市石炭・化石館の管理運営／企画展・イベントの開催による誘客事業

【公益事業：12,734千円・管理運営委託事業：84,931円】

【ビジョン：Ⅱ-5自然・歴史・文化・芸術の活用】

本市固有の資源である「化石」と「炭鉱」をはじめとした本市の自然・地質・産業遺産の継承に資するため、いわき市石炭・化石館ほるるの管理運営を行うとともに、常磐炭田史研究会やいわきヘリテージ・ツーリズム協議会、地元各種団体などとの連携を図り、あらゆる機会を活用し、継続した情報発信と出前講座や誘客イベントを開催し誘客と地域への愛着の醸成に努める。

また、1月には「全国石炭産業関連博物館等研修交流会」がいわき市で開催されることに伴い、全国に向け産炭地であるいわき市のPRに努めることとする。

Ⅱ 地域活性化事業（その他事業）

1 地域・情報戦略部会【9,687 千円】

(1) デジタルマーケティング事業

【ビジョン：I-1 デジタルマーケティングによる事業ごとのターゲット設定】

ネット利用者との接点を意識した情報発信（HP や SNS、デジタル広告等）を行う。

- ① ビューローの運営する HP や SNS など（オウンドメディア）の活用と分析
- ② EC サイトの活用と分析

(2) デジタルプロモーション事業

【ビジョン：I-3 インバウンドに対応した情報の発信】

インバウンド（台湾定期チャーター便就航）・ふくしま DC へ向けた情報発信の強化を図る。

- ① ターゲット（地域や年齢、性別など）に合わせ、YouTube や Instagram など SNS を活用したデジタルプロモーションの強化
- ② 国内でのデジタル広告の継続と国外展開
- ③ ChatGPT などの AI を活用したインバウンド向けの情報発信

(3) キービジュアル作成事業

【ビジョン：I-4 多様な媒体を活用した情報の発信】

観光誘客や受入サービスのための観光パンフレットやポスター、観光 PR 動画、多言語観光パンフレット等を作成する。

- ① 紙媒体であるパンフレット・ポスターなどによる情報発信
パロメータ付き QR コードなどにより、紙媒体から WEB への流入計測
- ② 国外展開も見据えた観光 PR 動画作成
- ③ 多言語パンフレットの作成

(4) GPS など各デジタルデータを活用し継続した訪問客動向調査事業

【ビジョン：I-2 地域と連携した観光・物産情報の収集と効果的な発信】

活用性の高い情報のデータ収集（楽天、東北観光 DMP（東北観光推進機構）等）を行う。

- ① GPS などを活用した訪問客の周遊動向や属性データの調査
- ② 楽天と連携した宿泊状況や属性の調査
- ③ 東北観光推進機構と連携した東北観光 DMP による外国人観光客などの動向調査
- ④ 調査結果を各部会で共有し、様々な事業への反映

2 観光・誘客推進部会【4,583 千円】

(1) インバウンド誘客

【ビジョン：Ⅱ-4 インバウンド誘客の推進】

令和6年に検討した「インバウンド戦略」を踏まえ、東北観光推進機構、福島県等と連携し、継続した PR を開始・誘客活動を行う。

- ① インバウンド戦略の実行
- ② コンテンツやモデルコースの造成、現地商談会への参加及び関係構築

(2) スポーツを通じた観光交流人口の拡大

【ビジョン：Ⅱ-1 テーマ別観光の造成と推進】

スポーツをきっかけに、滞在や周遊の促進を図るため、プロモーションや各種プランを提案する。

- ① いわき FC 戦でのアウェイサポーターに向けた PR 活動
- ② 全国高校総合体育大会（インターハイ）男子サッカー競技に訪れる観戦客へのプロモーション強化
- ③ サイクルツーリズムの推進（ナショナルサイクルルート認定）
- ④ その他スポーツ（マラソン・ゴルフなど）での誘客活動

(3) ふくしま DC (プレ) の実施

【ビジョン：Ⅱ-2 広域連携を積極的に活用した仕掛けの構築】

4月から6月に開催される「ふくしまプレ DC」において誘客に向けた取り組みを行う。

- ① DC (本番) に向けたコンテンツの磨き上げ
- ② 関係団体と連携した宣伝活動の強化

(4) 観光誘客プロモーションの強化

【ビジョン：Ⅱ-1 テーマ別観光の造成と推進】

「いわき」の知名度向上のため、情報発信と合わせてプロモーション活動を実施する。

- ① HP、SNS を活用した情報発信 (地域・情報戦略部会との連携)
- ② 東北観光推進機構・福島県・福島県観光物産交流協会等との連携
- ③ ホープツーリズムの推進
- ④ 教育旅行を中心とした営業活動
- ⑤ テーマ別観光の推進 (いわき名物ガイド付きツアー等の実施)
- ⑥ 低山登山、産業遺産などの継続した造成
- ⑦ 各種イベントでの観光 PR (地域・物産振興部会との連携)

(5) その他

【ビジョン：Ⅱ-3 教育旅行・合宿、MICE の誘致 / Ⅱ-4 インバウンド誘客の推進】

- ① 教育旅行・合宿・MICE のプロモーション
- ② クルーズ船寄港に伴う観光 PR
- ③ 県と連携した合宿による若者の交流人口拡大・地域振興事業 (フラ合宿) の実施

3 地域・物産振興部会【19,618 千円】

(1) EC 事業の強化とリアルイベントでの PR 拡大

【ビジョン：Ⅲ-2 販路拡大のためのイベントやキャンペーンへの参加】

「いわきの逸品」EC サイトのシステム改修などによる利便性の向上を図り、さらなるサイトの充実を図る。

- ① EC サイトの利便性向上及び夏・冬ギフト商品の販路拡大と販売強化
- ② 掲載商品の紹介や掲載商品を活用したレシピ動画による PR 強化と販売促進
- ③ デジタル広告 (ショッピング広告) の活用による販売促進

(2) 物産プロモーションによる販売促進事業

【ビジョン：Ⅲ-3 食文化のブラッシュアップとプロモーション】

市内外での各種物産展を通じた販売促進、「常盤もの」認知度向上及び販売促進に努める。

- ① 水産物及び水産関連事業者の PR 強化による販売促進
- ② 市内外イベントでの水産加工品の PR 強化による販売促進
- ③ 首都圏を中心としたリアル催事での成功事例創出商品や地場製品の PR 強化による販売促進
- ④ いわき大物産開催による地場製品の PR 強化による販売促進
- ⑤ いわきオリジナルアロハシャツの制作と販売促進
- ⑥ 市石炭・化石館を活用した販売や、民芸等の物販・体験イベントの開催

(3) 商品開発や成功事例創出による PR 強化

【ビジョン：Ⅲ-1 産学官・農商工連携による新たな商品の造成や地域製品の活用】

新たな商品開発等の支援による成功事例を創出し、さらなるいわき製品の PR を図る。

また、朝市を通じた販売促進とともに、市外・海外から宿泊に繋がる仕組みづくりを行う。

- ① いわき商工会議所と連携し、特産品や観光土産品のコンテストの実施とコンテストを通じた商品のPRによる成功事例を作る支援
- ② 市内朝市（モーニングタイムエコノミー）の情報収集と発信及び開催による宿泊施設と連携した連泊客増の推進

4 受託事業

ビジョンに掲げるそれぞれの目標を達成するため、当ビューローがその専門性にに基づき事業を推進する。

- (1) 観光誘客促進事業（いわき市総合観光案内所運営・海開き式典開催・いわきおどり運営）
【ビジョン：Ⅰ-5 観光案内所機能の充実／Ⅱ-5 自然・歴史・文化・芸術の活用／Ⅱ-6 地域の祭り・イベントの活用】
《市観光振興課：21,481 千円：観光・誘客推進部会》
- (2) フィルム・コミッション推進事業業務
【ビジョン：Ⅱ-5 自然・歴史・文化・芸術の活用】
《市観光振興課：3,007 千円：観光・誘客推進部会》
- (3) クルーズ船おもてなし事業
【ビジョン：Ⅱ-4 インバウンド誘客の推進】
《市観光振興課：1,064 千円：観光・誘客推進部会》
- (4) 教育旅行・コンベンションプロモーション事業
【ビジョン：Ⅱ-3 教育旅行・合宿、MICE の誘致】
《市観光振興課：1,848 千円：観光・誘客推進部会》
- (5) いわき産水産物魅力アップ事業『「常磐もの」認知度向上及び販売促進業務』
【ビジョン：Ⅲ-3 食文化のブラッシュアップとプロモーション】
《市水産振興課：23,016 千円：地域・物産振興部会》
- (6) いわき市木づかい住宅ポイント事業交換商品取扱等業務
【ビジョン：Ⅲ-2 販路拡大のためのイベントやキャンペーンへの参加】
《市林業振興課：13,439 千円：地域・物産振興部会》
- (7) “合宿”による若者と地域のつながりづくり推進事業（フラ合宿）業務
【ビジョン：Ⅱ-3 教育旅行・合宿、MICE の誘致】
《県いわき地方振興局：4,100 千円：観光・誘客推進部会》
- (8) その他、新規事業

5 補助事業

- (1) いわき市コンベンション補助金
- (2) いわき市教育旅行補助金
- (3) 観光庁「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業」
- (4) 福島県観光関連事業者等誘客促進支援事業補助金
- (5) ふくしま産業応援ファンド事業（助成金）
- (6) その他（国や県）

6 他団体との連携

- (1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会
- (2) いわきフィルム・コミッション協議会
- (3) 行政機関や公的機関との連携

国（国土交通省観光庁）や県（観光交流局やいわき地方振興局）、（一社）東北観光推進機構や（公財）福島県観光物産交流協会等の関係機関との連携により、財源の確保やスケールメリットを活かすなど、効率的かつ効果的な事業展開を図る。